



図書だより 1月

平成28年1月8日
開南幼稚園 永森 加奈



あけまして おめでとうございます

今年もよろしくお願いいたします。例年にない、暖かな年末年始でした。家族そろって楽しく過ごされたことかと思えます。早速、子どもたちは楽しかった冬休みの思い出を話してくれました。子どもたちが経験したことに合わせて絵本を選ぶように、子どもとの対話を大切に、工夫していきたいと思えます。

3学期はまとめの学期です。どのクラスも聞き方がとても上手になりました。年長さんは幼年童話や詩集などにも挑戦して、さらに感性を養ってほしいです。

子どもに絵本を読んであげることは、時間と思いを共有することです。たくさんの物語を共有することで、実生活の様々な場面で、子どもの気持ちに寄り添う元となるものが形成されると思います。今年もたくさん絵本を読んであげてください。



1月 貸出し

貸出日	1/8 (金)	15 (金)	21 (木)	22 (金)	29 (金)
			年長 年中	年少 ひよこ	
返却日	1/12 (火)	18 (月)	25 (月)		2/1 (月)

- * 行事や祝日のため変則です。年長・年中は雪遊びに出掛けるため**21日(木)**に貸し出します。
- * 貸出日に欠席の場合、翌週月曜に貸し出しますので、水曜日までに返却してください。

お子様が自分で準備できるようにするために、保護者の方の声掛けが必要です。

「入れたかな バックの中に 借りた本 お休み明けの 返却日」

「おはなししましょ！」
1/20(水) 10:30~12:00
お気軽にいらしてください



早期教育より 遊びとふれあい

内田 伸子さん

十文字学園女子大学特任教授

「子どもの早期教育が過熱気味ですが、小さいうちにどんな教育を受けさせるかで子どもの将来が決まるというのは間違いです。…中略…

幼児期に本の読み聞かせをたっぷり受けた子や、手先を使うブロック遊びを好んでいた子は、小学校の国語の学力が高い傾向があります。幼児期のしつけのスタイルや保育形態が影響を与えることがわかります。みんなに同じことをさせる「一斉保育」よりも、子どもの主体性を重視して、遊びを中心にした「自由保育」を受けた子のほうが語彙得点は高くなっています。

また、「共有型」のしつけを受けた子は、「強制型」のしつけを受けた子よりも得点が高くなります。共有型は親子のふれあいを大事にし、楽しい経験を共有しようとします。本の読み聞かせでも親の見方を押しつけるのではなく、子ども自身に考える余地を残すように言葉をかけます。強制型は親の思う通りに子どもを育てたいという発想で、子どもに過度に介入しますが、褒め言葉が少なく否定的な言葉が多くなります。読み聞かせでも子どもに考える余地を与えません。親子で楽しい会話をしていると語彙は豊になります。

早期教育にお金と時間をかけるより、子どもとふれあい、遊ぶ時間をできるだけ確保することを考えるべきです。その方が、子どもの将来の選択肢を広げることにつながるのではないかと思います。

2016/01/05 朝日新聞より抜粋

絵本 リサイクルバザー

日時 1/27(水)・28(木)・29(金)
9:30~11:30

場所 図書室

価格 1冊…10円(ソフトカバー)
100円(ハードカバー)

* 絵本を入れる袋をご持参ください

ご家庭で読まなくなった絵本の受け入れは随時受け付けております。ご協力お願いいたします。